

# 中心市街地商業等活性化

## 自治体情報

愛知県岡崎市

人口 / 366,255人

標準財政規模 / 68,059百万円

担当課 経済振興部商工労政課

電話番号 直通 0564-23-6503

実施主体 岡崎市、NPO 岡崎都心再生協議会（中心市街地整備推進機構）、岡崎商工会議所、岡崎まちゼミの会、おかざき商人塾の会

関連ホームページ <http://www.city.okazaki.aichi.jp/menu3124.html>

事業期間 平成22年度から

関係施策分類

## 予算関連データ

総事業費：14,638千円

名称	所管	金額(千円)
まちなか再生総合プロデュース事業補助金	ふるさと財団	6,806
一般財源	—	7,832

## 施策のポイント

『個店活性化を核とした、商業者主体の点→線→面の商店街活性化の展開』

行政等による個店活性化を目的とする事業への支援、商業者を支援する団体への支援により、商業者の組織化が進み、商業者主体の多様な活性化事業が展開している。

## 施策の概要

### 1. 取組に至る背景・目的

市では従来、公共施設整備等により中心市街地活性化を進めてきたが、商店街の集客力アップなどの直接的効果にはなかなか結びつかなかった。そのような中で、個店活性化を目的とした全国初の取組「得するまちのゼミナール（まちゼミ）」が成果をあげ、全国に広がりを見せるとともに、参加店の中からリーダー人材が生まれてきていた。

これらの状況を受け、商業者や市民等との意見交換を経て、平成22年度に実感ある活性化を目指して商業活性化を重点課題とする活性化ビジョンを策定した。

### 2. 取組の具体的内容

- (1) おかざき商人塾（個店経営研修）【市、都心再生協議会、商人塾の会】（<http://www.city.okazaki.aichi.jp/menu9868.html>）
- (2) まちゼミ【まちゼミの会、商工会議所】（<http://machizemi.org/>）
- (3) おかざきバル【都心再生協議会】（<http://okazakibar.org/>）
- (4) 事業実施を支援する団体への支援（中心市街地整備推進機構運営費補助）【市】
- (5) タウンマネジメント研究会【市、都心再生協議会、商工会議所、商業者】

### 3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・商人塾、まちゼミでは、参加店の経営改善と、参加店のネットワーク化
- ・バルでは、参加店の活性化と、当日の回遊促進、活性化の担い手育成
- ・タウンマネジメント研究会では、主体ごとに個別に展開されている活性化事業の整理と、役割分担の明確化

### 4. 現在までの実績・成果

- ・商人塾では、売上や来店者増を果たしただけでなく、参加商業者による自主的かつ組織的な経営研修がスタートしている。また、参加商業者の有志を中心に、個店を含む地域の活性化を検討するタウンマネジメント研究会がスタートしている。
- ・バルは平成23年4月に実施した第1回ではチケット640枚を売上げ、賑わいづくりに成功し、10月末には第2回が予定されている。また、11月には、バル参加店を中心に新たな取組「おかざき★まちなか合コン大作戦」（<http://okazaki-machikon.org/>）の開催も予定されており、商業者主体で活性化事業が取り組まれている。
- ・事業の積み重ねを通じ、各事業のリーダーを中心に、活性化の担い手となる人材の発掘と育成を進めることができている。

### 5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

事業を、行政主導でなく地域主導の継続性ある取組としていくためには、中心市街地整備推進機構が核となって地域商業者を巻き込むことにより、地域の担い手の発掘と育成がカギとなるが、これに対しては、商業者のメリットに直結する個店活性化を目的とした事業を支援し成功させることを通じて担い手を開拓し、対処してきた。

### 6. 今後の課題と展開

意欲的な商業者人材により、多様な展開が生まれてきているが、これを継続的、発展的に進めていくためには、受け皿となる組織の確立が不可欠となってくるため、専門家等の支援を得ながら検討を進める。